

談話室

産経新聞 令和2年(2020年)9月23日(水)

運動会 思い出す祖母の日傘

大学生 中村 舞 23

来月84歳になる祖母は、小学校6年間、必ず運動会を見学に来てくれた。

私は高身長だったため、校庭で座る位置は後ろの方になる。祖母は私の座席の背後に立ち、日陰でいられるように、日傘を差し続けていた。

高学年になるにつれて、

恥ずかしくなってきた。周囲には誰も日傘を差してもらっている子供がいなかったからだ。

日が高くなり、より暑くなる。祖母は私に「大丈夫？ 暑くない？」と話しかけてくる。

競技の順番が近づいてくるので、それどころではな

いと思いつながら、返事をしていた。

約10年がすぎ、祖母は腰が曲がり、歩く速度が遅くなり、歩幅も小さくなった。そんな祖母に週1、2回、母と会いに行く。

「ご飯は何を食べたの？」「お茶はちゃんと飲んでいる？」などと問いかけて、祖母の生活ぶりを気にかけている。

(和歌山市)

※無断転載不可